



リシリコンブの生育状況



昆布干場の様子と利尻山

今後の予定

リシリコンブの養殖は安定的なコンブの生産を確保するためだけでなく、CO₂吸収による気候変動緩和の観点からも重要であると考えられます。

そのブルーカーボン生態系の創出、回復、維持等のため、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合が創設したブルーカーボンクレジット、「Jブルークレジット」を活用した取組に地域の関心が高いことから、その適応について地域と調整して参ります。

また、現在利尻富士町では、令和5年度中に地球温暖化対策実行計画を策定する予定であり、CO₂吸収源対策の一環として本取組の調査結果を活用することを検討しています。

本調査は養殖コンブの採取時にロープ延長や湿重量などを計測することで、ブルーカーボン生態系によるCO₂吸収量の推計を試みています。この簡便かつ安価なこの方法は他地域にも広く活用していくことが可能であると考えられます。

令和5年度 港湾空港関係功労者表彰及び海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰

北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課

北海道開発局では、様々な団体と連携した港湾空港整備事業の効果的な推進を目的として、「北海道開発局港湾空港関係功労者表彰」及び「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を実施しています。

今年度の「港湾空港関係功労者表彰」は、前羽幌町長の駒井久晃氏(故人)及び三協建設(株)の堀松秀樹社長に、また、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」は、Canal Clean Team(カナル・クリーン・チーム)(株)西村組及び藤建設(株)に決定し、7月25日(火)表彰式が執り行われました。

表彰式では、北海道開発局鈴木港湾空港部長から感謝状、表彰状が授与され、その功績を讃えるとともに、改めて感謝の意を表する挨拶がありました。

各受賞者の皆様からは、港湾にまつわる故人との思い出、企業活動や清掃活動に対する熱い思いなどが語

られるとともに関係者の方々に対する謝辞等が述べられました。



表彰を受賞された方々
(前列右から堀松秀樹様、駒井千晶様(駒井久晃様代理)、鈴木港湾空港部長、Canal Clean Team 様、(株)西村組様、藤建設(株)様)